

科目名	アジア仏教学研究Ⅱ [院]					単位	2.0
担当教員	織田 顕祐						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1, 2	授業番号	8003

●授業のテーマ

漢訳大乘経典『法華経』を読む

●到達目標

- ・漢訳経典が音読できる。
- ・『法華経』の主要な思想が理解できる。
- ・他の大乘経典との関係が理解できる。

●学習内容(授業概要)

主要な大乘経典である『法華経』を読む。

『法華経』は大乘仏教の要のような内容を持っているので、この点を音読しながら理解していく。

また、『法華経』は東アジアの諸地域、特に日本において重要視されたから、そうした思想史の展開も理解する。

●学習内容(授業計画)

≪後期≫

1. 『法華経』と訳者鳩摩羅什について概要を調べる。
2. 『法華経』の主要な注釈書、『法華経』の構造などを理解する。
3. 序品を読む
4. 序品の中心思想と課題を考察する
5. 方便品を読む
6. 方便品を読む
7. 方便品の中心思想と課題を考察する
8. 譬喩品を読む
9. 譬喩品の中心思想と課題を考察する
10. 見宝塔品を読む
11. 提婆達多品を読む
12. 如来寿量品を読む
13. 如来寿量品を読む
14. 如来寿量品の中心思想と課題を考察する
15. 全体的なまとめと日本仏教への展開

●準備学習・事後学習の内容

集中講義なので、予習・復習よりも授業参加と質疑が重要である。

●成績評価方法・基準

授業参加とレポートを均等に評価する。

●テキスト（必携）

必要なものはプリント配布する。

●参考文献／その他

横超慧日著『法華経序説』（法蔵館）

●履修上の注意

漢文の音読を中心に、東アジアの仏教思想展開にも言及する。
前期より若干高度かもしれないが、粘り強く参加して欲しい。